

品目	1 黄燐	2～4 削除
廃棄方法	(1) 燃焼法 廃ガス水洗設備及び必要あればアフターバーナーを具備した焼却設備で焼却する。廃ガス水洗設備から発生するリン酸含有廃水は消石灰等を加えて中和する。 〈備考〉 ア 黄リン容器の継ぎ目等に少量でも黄リンが残留する場合は完全燃焼に必要な処理を行う。 イ 黄リンを取扱う作業は全て水で空気を遮断した状態で行う。	

5 アクリルニトリル (アクリロニトリル)	6 アクロレイン
(1) 燃焼法 焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。 (2) アルカリ法 水酸化ナトリウム水溶液で pH を 13 以上に調整後高温加圧下で加水分解する。 (3) 活性汚泥法	(1) 燃焼法 (ア) 珪そう土等に吸収させ開放型の燃焼炉で焼却する。 (イ) 可燃性溶剤 (アセトン、ベンゼン等) に溶かし焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。 (2) 酸化法 過剰の酸性亜硫酸ナトリウム水溶液に混合した後、次塩素酸塩水溶液で分解し多量の水で希釈して流す。 (3) 活性汚泥法 (ア) 上記 (2) の方法で処理をした後、過剰の次亜塩素酸塩をチオ硫酸ナトリウム水溶液で分解し、更に活性汚泥法にかける。 (イ) アルカリ水溶液で重合沈降させた後、上澄液を多量の水で希釈し更に活性汚泥法にかける。 (ウ) 多量の水で希釈した後、更に活性汚泥法にかける。
	$\text{H}_2\text{C}=\text{CHCOOH}$ $\text{ClH}_2\text{C}-\text{CHCl}-\text{COOH}$
ガスクロマトグラフ法	吸光光度法 ガスクロマトグラフ法

7 アンモニア及びこれを含有する製剤	8 塩化水素及びこれを含有する製剤
(1) 中和法 水で希薄な水溶液とし、酸（希塩酸、希硫酸など）で中和させた後、多量の水で希釈して処理する。	(1) 中和法 徐々に石灰乳などの攪拌溶液に加え中和させた後、多量の水で希釈して処理する。
pH メーター法	pH メーター法

9 塩素	10 過酸化水素及びこれを含有する製剤
(1) アルカリ法 多量のアルカリ水溶液（石灰乳又は水酸化ナトリウム水溶液等）中に吹き込んだ後、多量の水で希釈して処理する。 (2) 還元法 必要な場合（例えば多量の場合など）にはアルカリ処理法で処理した液に還元剤（例えばチオ硫酸ナトリウム水溶液など）の溶液を加えた後中和する。その後多量の水で希釈して処理する。	(1) 希釈法 多量の水で希釈して処理する。
Ca(OCl)_2 NaOCl	
ヨウ素滴定法 吸光光度法	ヨウ素滴定法

11 クロルスルホン酸	12 クロルメチル（塩化メチル）
（１）中和法 （ア）耐食性の細い導管よりガス発生がないように少量ずつ、多量の水中深く流す装置を用い希釈してからアルカリ水溶液で中和して処理をする。 （イ）水蒸気（ドレンを含まない。）又は空気と接触させ白煙をアルカリで処理した後、残液を多量の水に徐々に添加し希釈してからアルカリ水溶液で中和して処理する。 （ウ）珪そう土、タルク、石膏等に吸着させてから少量ずつ多量の水に加え、その後アルカリ水溶液で中和して処理する。（吸着させるとき空気中の水分で発煙するので吸引処理する。） 〈備考〉 本剤は水と激しく反応し、その際発生する塩化水素と硫酸とにより被害（酸が爆発的に飛散して密閉容器破裂）を受ける恐れがあるので注意して処理する。	（１）燃焼法 アフターバーナー及びスクラバー（洗浄液にアルカリ液）を具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。
pH メーター法	ガスクロマトグラフ法

13 削除	14 ジメチル硫酸
	(1) 燃焼法 焼却炉で焼却する。 (2) アルカリ法 多量の水又は希アルカリ水溶液を加え、放置又は攪拌して分解させた後、酸又はアルカリで中和して廃棄する。 〈備考〉 分解を促進させる必要がある場合には加温する。
	CH_3OH , H_2SO_4 CH_3NaSO_4
	吸光光度法

15 臭素	16 硝酸及びこれを含有する製剤
(1) アルカリ法 アルカリ水溶液(石灰乳又は水酸化ナトリウム水溶液)中に少量ずつ滴下し多量の水で希釈して処理する。 (2) 還元法 多量の水で希釈し還元剤(例えばチオ硫酸ナトリウム水溶液など)の溶液を加えた後中和する。 その後多量の水で希釈して処理する。	(1) 中和法 徐々にソーダ灰又は消石灰の攪拌溶液に加えて中和させた後、多量の水で希釈して処理する。消石灰の場合は上澄液のみを流す。
NaBr Na ₂ S ₄ O ₆	
吸光光度法	pH メーター法

17 水酸化カリウム及びこれを含有する製剤	18 水酸化ナトリウム及びこれを含有する製剤
(1) 中和法 水を加えて希薄な水溶液とし、酸（希塩酸、希硫酸など）で中和させた後多量の水で希釈して処理する。	(1) 中和法 水を加えて希薄な水溶液とし、酸（希塩酸、希硫酸など）で中和させた後多量の水で希釈して処理する。
pH メーター法	pH メーター法

19 ニトロベンゼン	20 発煙硫酸
(1) 燃焼法 おが屑と混ぜて焼却するか、又は可燃性溶剤（アセトン、ベンゼン等）に溶かし焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	(1) 中和法 徐々に石灰乳などの攪拌溶液に加えて中和させた後、多量の水で希釈して処理する。 〈備考〉 多量の発煙硫酸を処理する場合は 70～80%硫酸で希釈してからにする。
	CaSO ₄
ガスクロマトグラフ法	pH メーター法

21 ホルムアルデヒド及びこれを含有する製剤	22 硫酸及びこれを含有する製剤
(1) 酸化法 (ア) 多量の水を加えて希薄な水溶液とした後、次亜塩素酸塩水溶液を加え分解させ廃棄する。 (イ) 水酸化ナトリウム水溶液等でアルカリ性とし、過酸化水素水を加えて分解させ多量の水で希釈して処理する。 (2) 燃焼法 アフターバーナーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。 (3) 活性汚泥法 〈備考〉 次亜塩素酸塩を加えるとき、発熱するので処理液中のホルムアルデヒド濃度を 2%以下とすることが望ましい。	(1) 中和法 徐々に石灰乳などの攪拌溶液に加え中和させた後、多量の水で希釈して処理する。
	CaSO ₄
吸光光度法	pH メーター法